

牧草と雑草の違い

【草地に生息している草種を把握することが大事】

限られた広さの草地から、より栄養価の高い牧草を少しでも多く収穫したい！
そのためには牧草の割合を多くして、雑草を少なく維持することが大切です



**草地の役割は
牧草を生産すること**

**播種して栽培している
植物が牧草**

**意図的に栽培していない
植物は雑草**

【雑草による負のスパイラル】

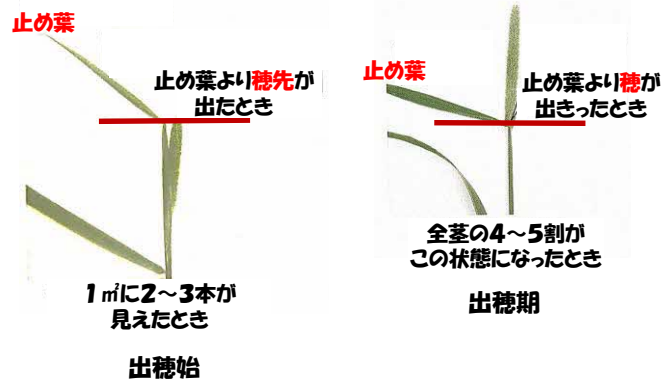
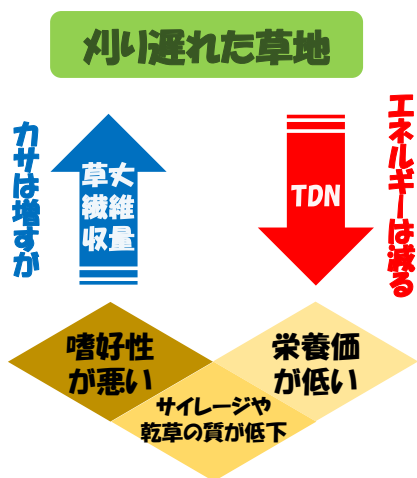
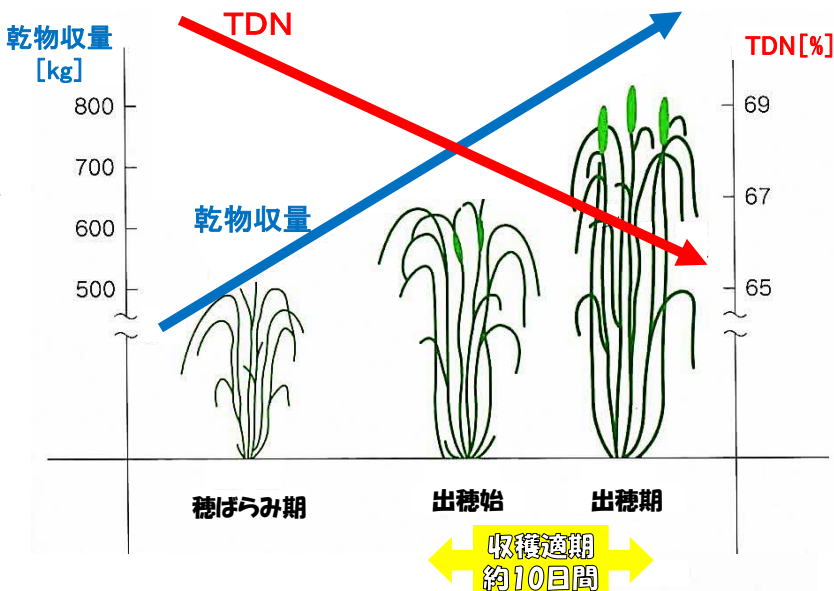
草地では雑草が多くなると牧草が減ります。飼料としての栄養価が低下し嗜好性も悪化します。
すると牛の採食量が減り乳量も繁殖力も自ずと低下してしまい、生産性が落ちてしまいます。



このように生産性が落ちるといことは農業粗収益が減ることに結びつき、みなさんの農業経営を悪化させます。
結果として草地更新がしづらくなってしまい十分な草地の管理ができず、雑草だらけの草地になってしまいます。
みなさんは負のスパイラルに陥らないように、適切な草地管理をしていきましょう。

【収穫適期に注意！】

草地に雑草が少なかったとしても、**収穫適期(出穂始から出穂期)**を逃がし刈り遅れてしまうと、牧草の栄養価が低下してしまいます。



【草種の出穂始】

草種選定や品種選定の際に4つの牧草の品種ごとの出穂始を確認し、施肥や播種などの作業計画を事前に組み立てて下さい。

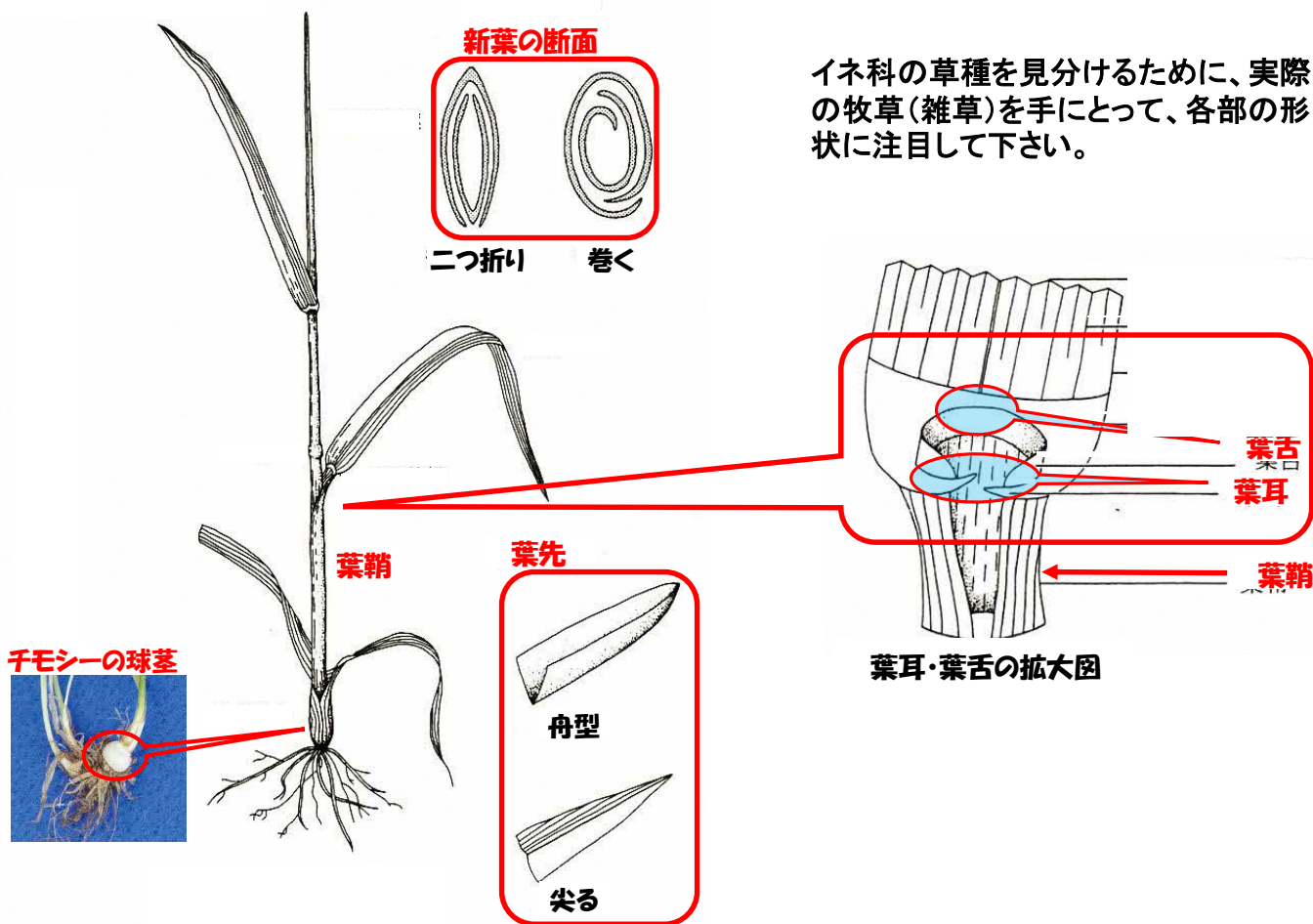
各草種の出穂始一覧

<道東地域>

草種	5月下旬	6月上旬	6月中旬	6月下旬	7月上旬
千モシー		極早生	早生	中生	晩生
オーチャードグラス	早生	中生	晩生	極晩生	
ペレニアルライグラス		中生	晩生		
バドゥフェスク		早生			

【草種を見分けるために注目するポイント】

みなさんの草地に牧草がどれだけあるのか、どんな雑草がどれだけ侵入しているのかを確かめてみましょう。



イネ科の草種を見分けるために、実際の牧草(雑草)を手にとり、各部の形状に注目して下さい。

イネ科草種の各部名称と形状の特徴

【形状の特徴で見分ける方法】

形状の特徴に注目することで草種を見分けることが容易になります。

イネ科牧草と雑草の特徴一覧

○:有 ×:無

	草種	新葉	葉耳	葉舌	葉に光沢	特徴
牧草	千モシー	巻く	×	○	×	球茎がある (早春や秋は小さい)
	オーチャードグラス	二つ折り	×	○長い	×	新葉が二つ折りで 葉先が尖る
	ペレニアルライグラス	二つ折り	○	○短い	○	新葉が二つ折りで 葉に光沢
	メドウフェスク	巻く	○	○短い	○	新葉が巻いて 葉に光沢
雑草	リードカナリーグラス	巻く	×	○長く尖る	×	葉幅が広く 粗剛感がある
	シバムギ	巻く	○	○短い	×	葉耳があって 葉鞘に微毛
	メドウフォックステール	巻く	×	○	×	黒っぽい穂 (5月初旬には出穂)
	ケンタッキーブルーグラス	二つ折り	×	○短い	×	葉先が舟形 葉に光沢
	ハルガヤ	巻く	×	○尖る	×	葉耳部に長毛

【各部の形状を一つ一つ確認しながら草種を見分ける方法】

①～⑤の手順に従って草種を識別していきます

① 前ページの赤枠 で囲まれた各部の形状を実物で確認して下さい

② 形状を確認したら **スタート** から矢印に沿って順に質問に答えていきます

③ 該当する形状に合わせて **はい** 又は **いいえ** を選択し矢印に従って質問に答えて下さい

④ このように順に選択していくと草種を識別することができます

例：オーチャードグラスであると見つけた場合 → を辿ります

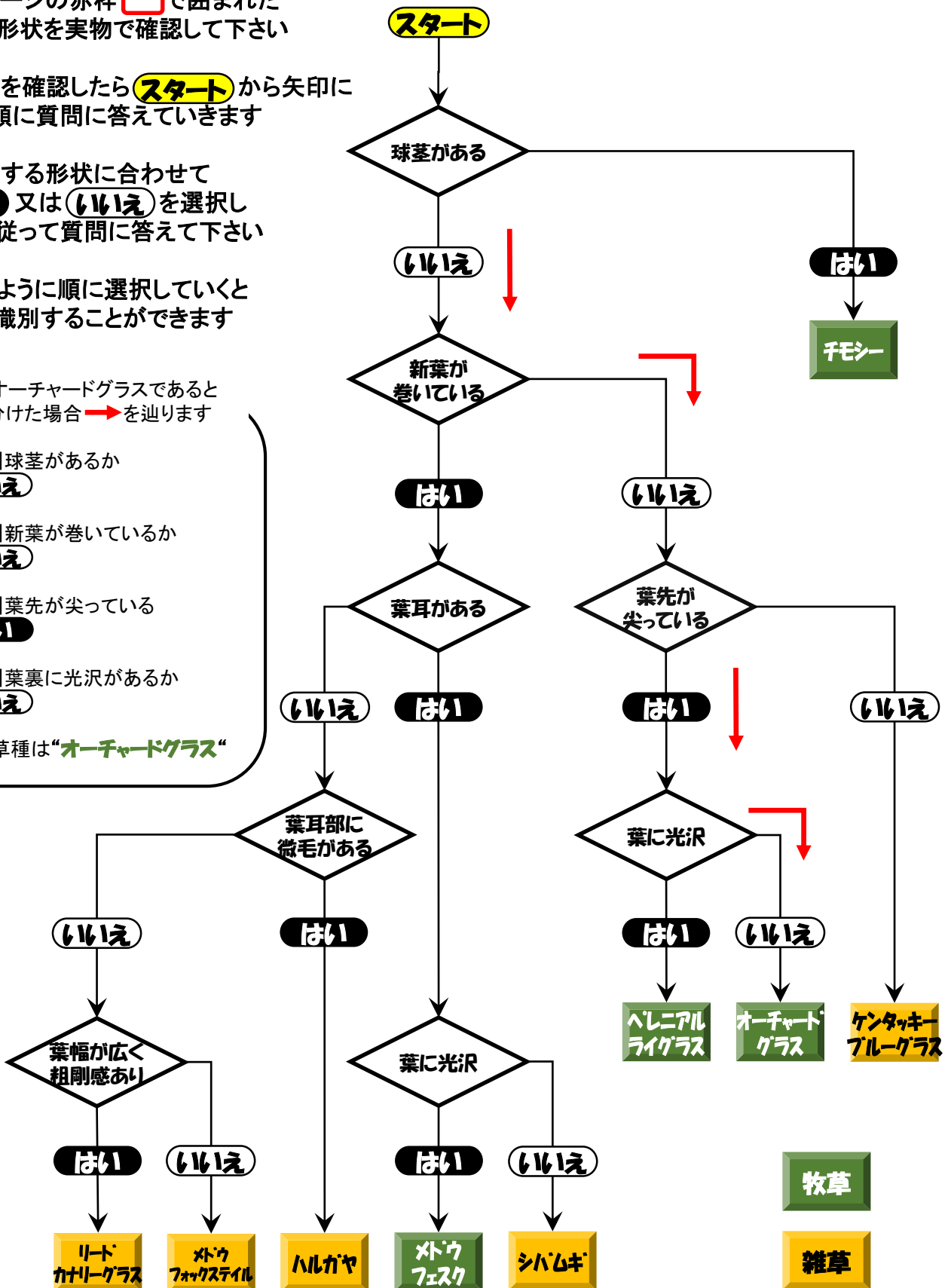
【質問1】球茎があるか
→ **いいえ**

【質問2】新葉が巻いているか
→ **いいえ**

【質問3】葉先が尖っているか
→ **はい**

【質問4】葉裏に光沢があるか
→ **いいえ**

【結果】草種は“**オーチャードグラス**”



牧草
雑草